

レジメン名

CBDCA+5-FU+Pembrolizumab

出典

KEYNOTE-048試験

実施部署区分

☒入院

☐外来

☐処置

対象疾患

頭頸部がん

☐導入療法

☐補助療法(術前・術後)

☒進行・再発

☐

1コース期間

21日

総コース数

CBDCA+5-FU: 6コース
Pembrolizumab: PDまで

(次のコースまでの標準期間)

投与減速の基準 (Pembrolizumab)	
infusion reaction	Grade2: 直ちに中止し、1時間以内に回復する場合には投与速度を50%に減速して再開

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ペンブロリズマブ (キイトルーダ)	200mg	輸液100mL	30分	day1
フルオロウラシル (持続静注)	1,000mg/m ²	輸液500mL	24時間	day1-4
カルボプラチン	AUC5	輸液250mL	1時間	day1

1日投与順 (経時的にブレマデイクेशन・ポストディケーション、溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(フラッシュ) ②キイトルーダ200mg＋輸液100mL(30分) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 ③生食50mL(フラッシュ) ④フルオロウラシル1,000mg/m ² ＋輸液500mL(24時間持続) <側管> ⑤' パロノセトロン0.75mg/バッグ＋デキサート4.95mg(15分) ④' カルボプラチンAUC5＋輸液250mL(1時間) ⑤' 生食50mL(フラッシュ用)
day2-4 ①フルオロウラシル1,000mg＋輸液500mL(24時間持続) <側管> ①' デキサート3.3mg ＋生食100mL(15分)
day5 ①生食50mL(フラッシュ用)
<内服・外用> day1-3 ・アプレビタントカプセル(day1: 125mg、day2-3: 80mg) * 内服困難時はプロイメンド考慮
<7コース以降> day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②キイトルーダ200mg＋輸液100mL(30分) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 ③生食50mL(フラッシュ)